

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
30-6	紀伊水道西	徳島小松島港海岸	赤石坂野地区	国土(港湾)	小松島市	6123	③徳島ゾーン	防護重視

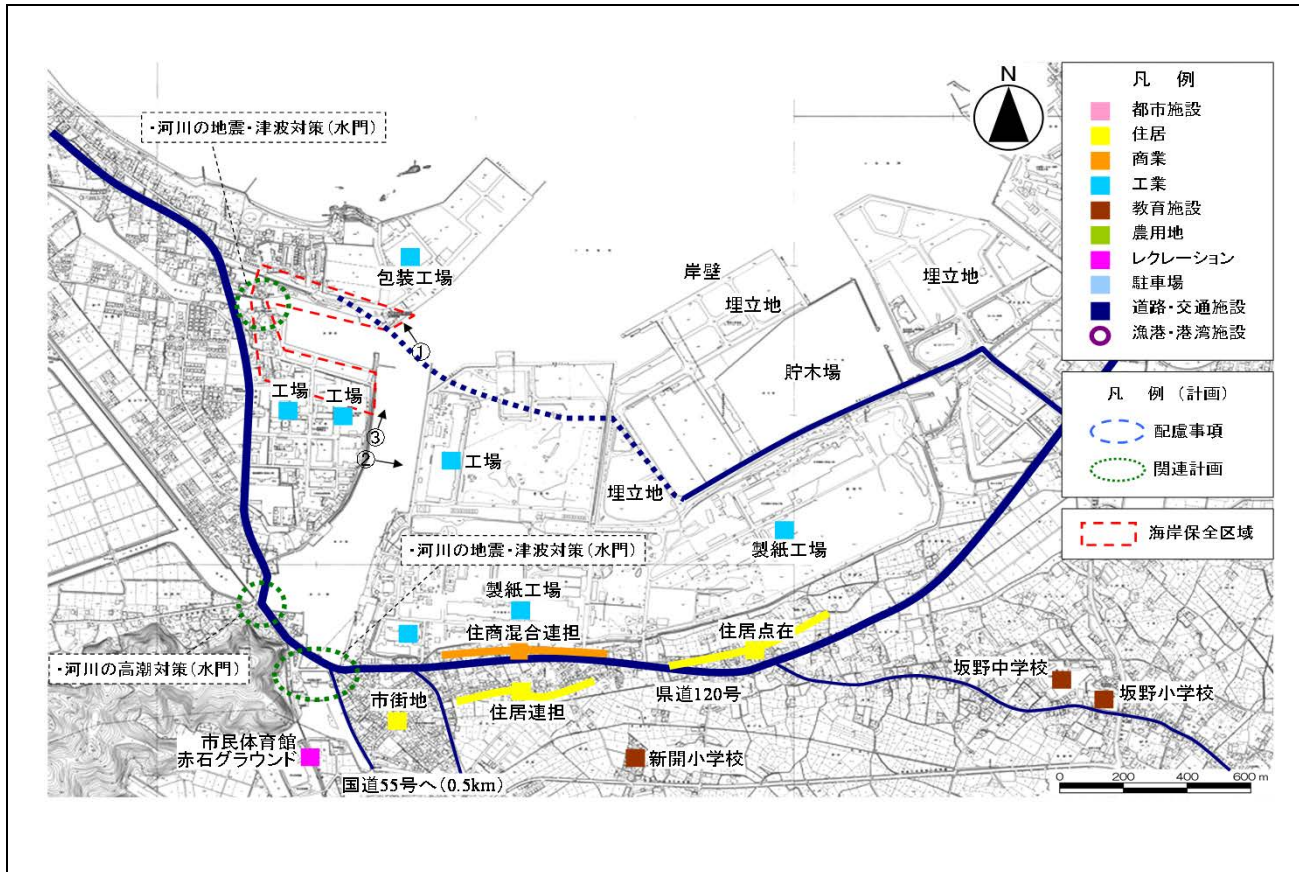
①岸壁状況(埋立地中央)



②護岸状況(埋立地東側)



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	環境面・利用面での特質的な配慮事項はないため、当面、防護を中心とした施設整備を図る。
防護面	越波・浸水等の可能性があり、対策を行う。
環境面	特質的な配慮事項はなく、現況の自然環境の維持に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	優食対策ランク	-
背後地ランク	A	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。				
海岸保全区域の概況	現在港湾施設の施工中である。護岸改修計画部分に大きな目地の開きが生じている。背後は駐車場や人家となっている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	B	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	-				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	2車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
30-7	紀伊水道西	徳島小松島港海岸	和田島地区	国土(港湾)	小松島市	3204	③徳島ゾーン	環境調和

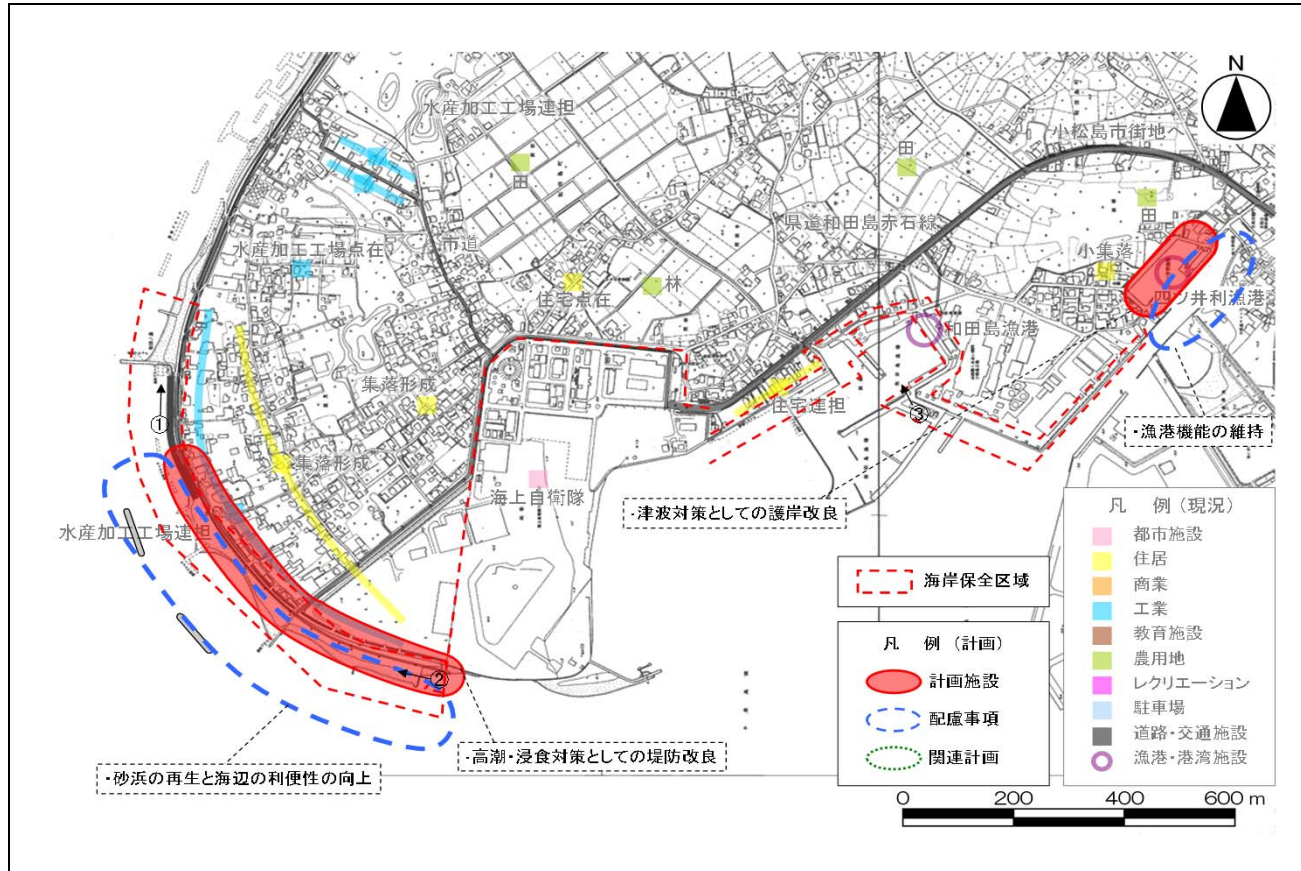
①護岸状況(北東側)



②海岸状況(北西側)



③漁港状況(南側)



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。藻場の保全、砂浜の再生、船着場等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	11津波や高潮による浸水の危険性や侵食等の可能性があり、対策を行う。
環境面	和田島の砂浜の保護・保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、侵食対策を推進し、砂浜の再生に努める。
利用面	船着場等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	A	
背後地ランク	A	既存保全施設	護岸・堤防、突堤			
施設の健全度	風化・劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	背後は漁村集落と魚介類加工工場が点在している。自衛隊基地や漁港がある。かつて砂浜では地引網のイベントが行われていたが、砂浜が侵食されてできなくなっている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・ブロック・突堤・離岸堤・護岸			
自然関係法令	-					
水質環境基準(類型)	B	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	船着場					
地域からの要請	砂浜の再生					

計画概要			
計画概要	津波・高潮・侵食対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約50ha	導入事業	津波・高潮、高潮、侵食
配慮事項	砂浜の再生と海辺の利便性の向上		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
31	紀伊水道西	坂野地区海岸	—	国土（水管理）	小松島市	3320	④那賀川ゾーン	環境調和

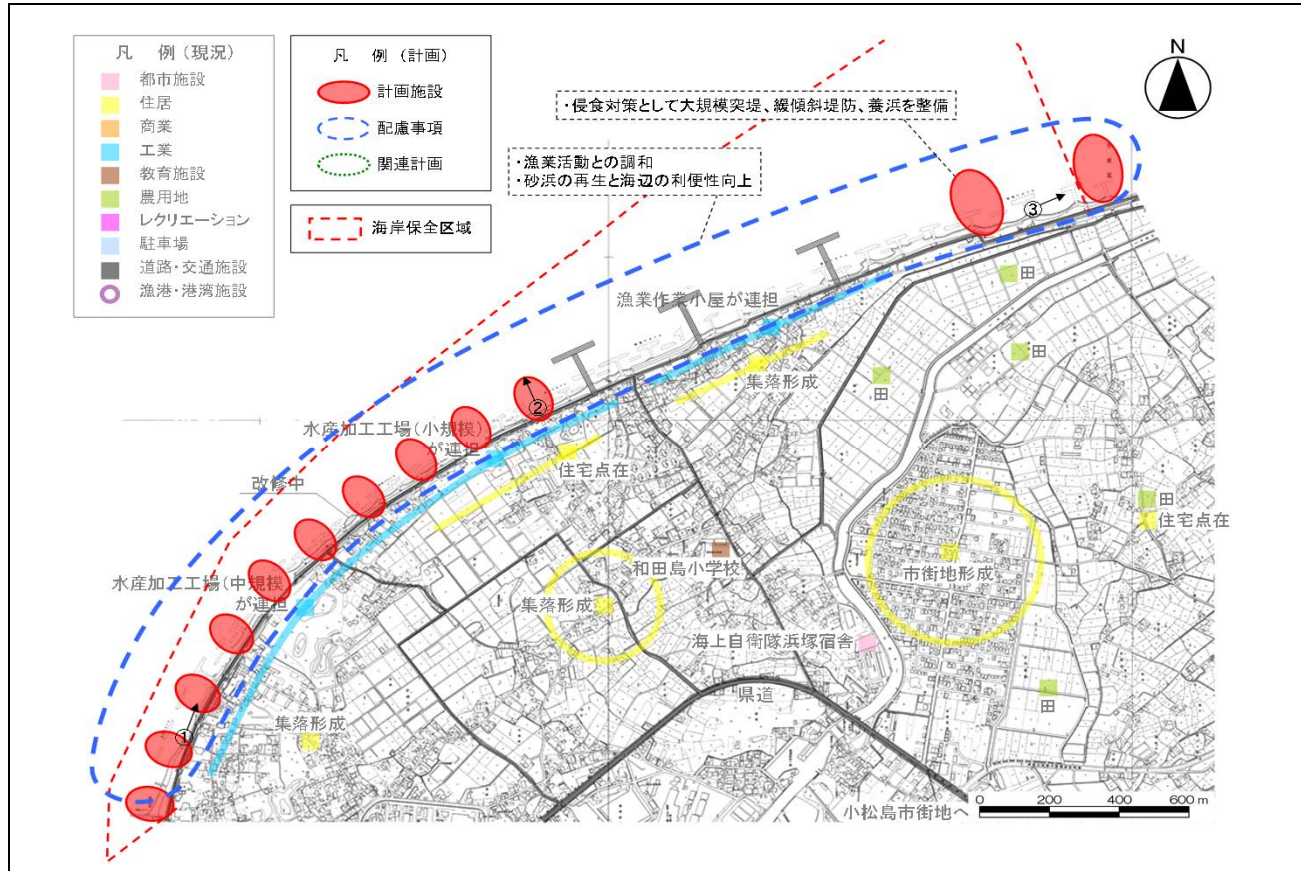
①海岸状況（北側）



②海岸状況（中央部）



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。自然景観の保全、砂浜の再生、船着場等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	なぎさりフレッシュ事業にて、砂浜の再生、大規模突堤、養浜、緩傾斜堤防からなる侵食対策を実施中である。
環境面	和田島の砂浜の保全・再生に努めるとともに、ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	船着場等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	A	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防、消波工、離岸堤、突堤			
施設の健全度	風化・劣化が顕著に見られる。					
海岸保全区域の概況	背後は道路及び自転車道である。全区間に渡って消波工・離岸堤が整備されているが、風化・劣化が進んでいる。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・ブロック・突堤・離岸堤・護岸			
自然関係法令	—					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然景観					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	船着場					
地域からの要請	砂浜の再生					

計画概要	
計画概要	侵食対策として大規模突堤、緩傾斜堤防、養浜を整備する。
受益規模	約500 導入事業 侵食
配慮事項	漁業活動との調和、砂浜の再生と海辺の利便性向上

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
32	紀伊水道西	今津地区海岸	—	国土(水管理)農水(農村)	阿南市	3115	④那賀川ゾーン	防護重視

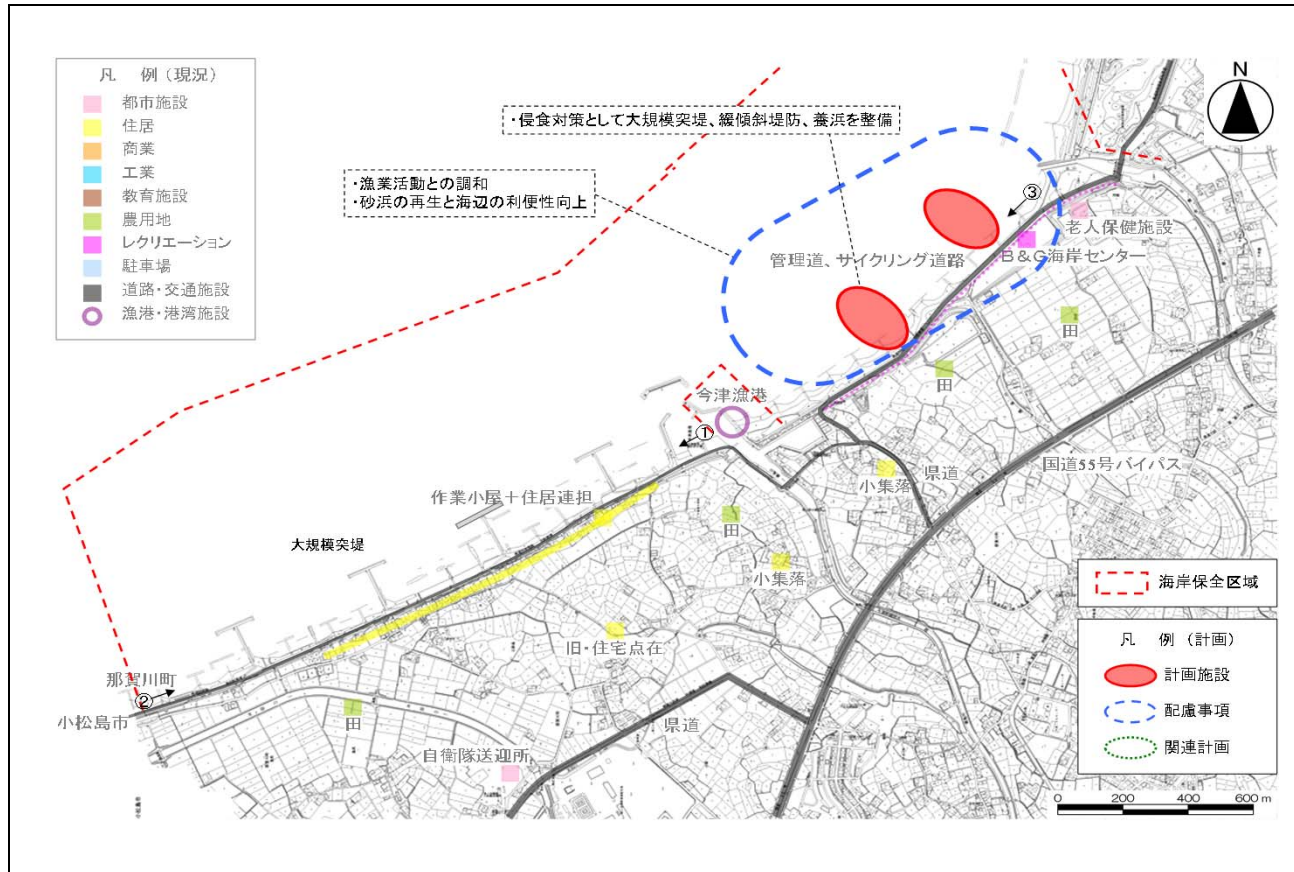
①海岸状況(南側)



②大規模突堤



③管理道路とサイクリング道路(北側はB&G駐車場)



海岸整備の方向性	
全体	砂浜の再生、船着場等の現状利用に配慮しつつ、防護を中心とした施設の維持管理に努める。施設整備を図る。
防護面	なぎさりフレッシュ事業にて、砂浜の再生、大規模突堤、養浜、緩傾斜堤防からなる侵食対策を実施中である。
環境面	特質的な配慮事項はなく、現況の自然環境の維持に努める。
利用面	船着場等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	A
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防、緩傾斜護岸、消波工、離岸堤、突堤		
施設の健全度	風化・劣化が顕著に見られる。				
海岸保全区域の概況	背後は道路及び自転車道である。全区間に渡って消波工・離岸堤が整備されているが、風化・劣化が進んでいる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	砂浜・ブロック・突堤・離岸堤・護岸		
自然関係法令	—				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	—				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	船着場				
地域からの要請	砂浜の再生、堤防沿の道路整備				

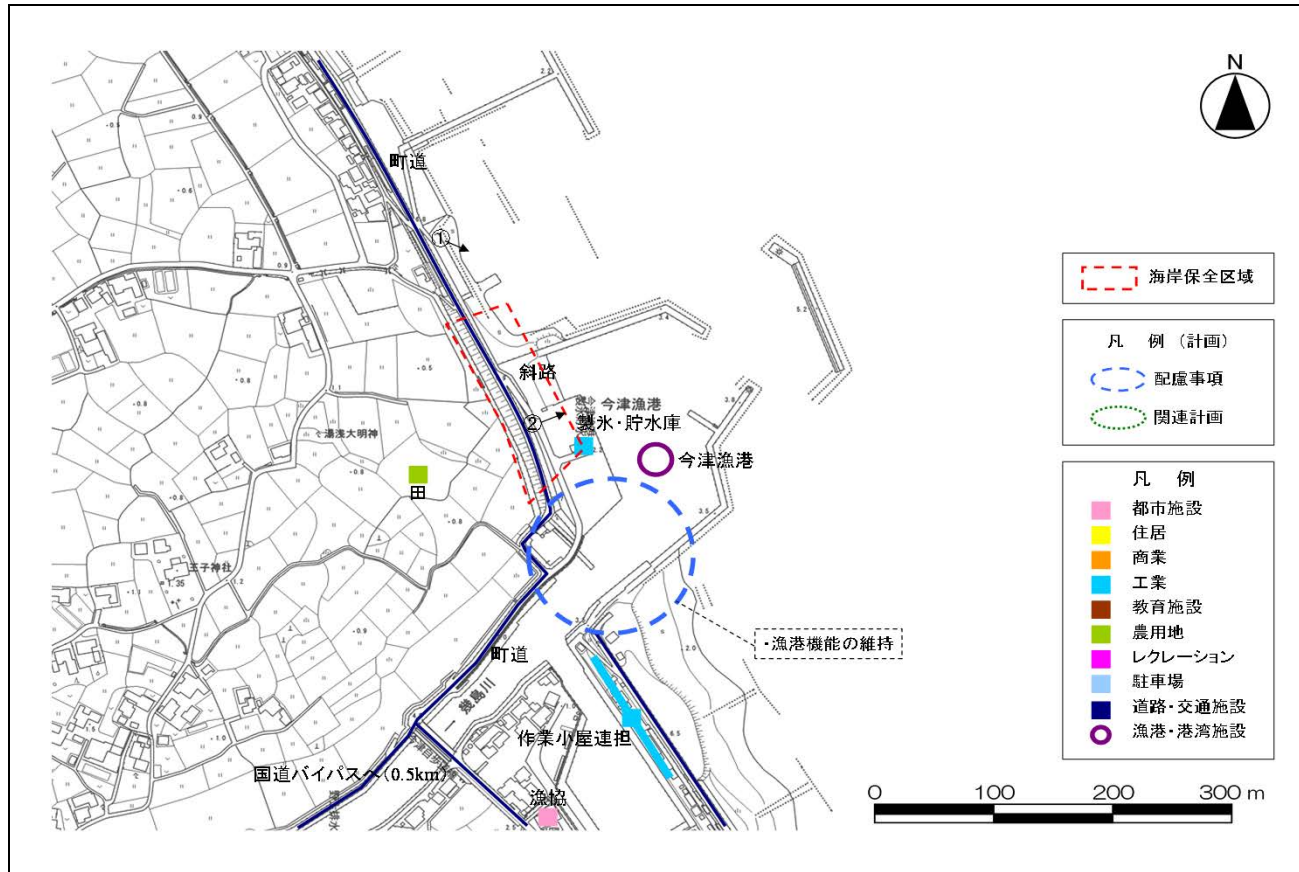
計画概要	
計画概要	侵食対策として大規模突堤、緩傾斜堤防、養浜を整備する。
受益規模	約150ha
導入事業	侵食
配慮事項	漁業活動との調和、砂浜の再生と海辺の利便性向上

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
33	紀伊水道西	今津漁港海岸	—	農水（水産）	阿南市	170	④那賀川ゾーン	防護重視

①漁港状況



②漁港状況



海岸整備の方向性	
全体	環境面での特質的な配慮事項はなく、港湾機能に配慮しつつ、当面、防護を中心とした施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	特質的な配慮事項はなく、現況の自然環境の維持に努める。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	護岸を横切る様に臨港道路が通っており、護岸前面は漁港施設が整備されている。背後には防砂林があり田が広がっている。人家はまばらである。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	ブロック・突堤・護岸		
自然関係法令	—				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	—				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	良好				
海岸利用状況	漁港				
地域からの要請	—				

計画概要		
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。	
受益規模	—	導入事業
配慮事項	—	

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
34	紀伊水道西	那賀川海岸	那賀川左岸地区	農水（農村）	阿南市	2000	④那賀川ゾーン	利用促進

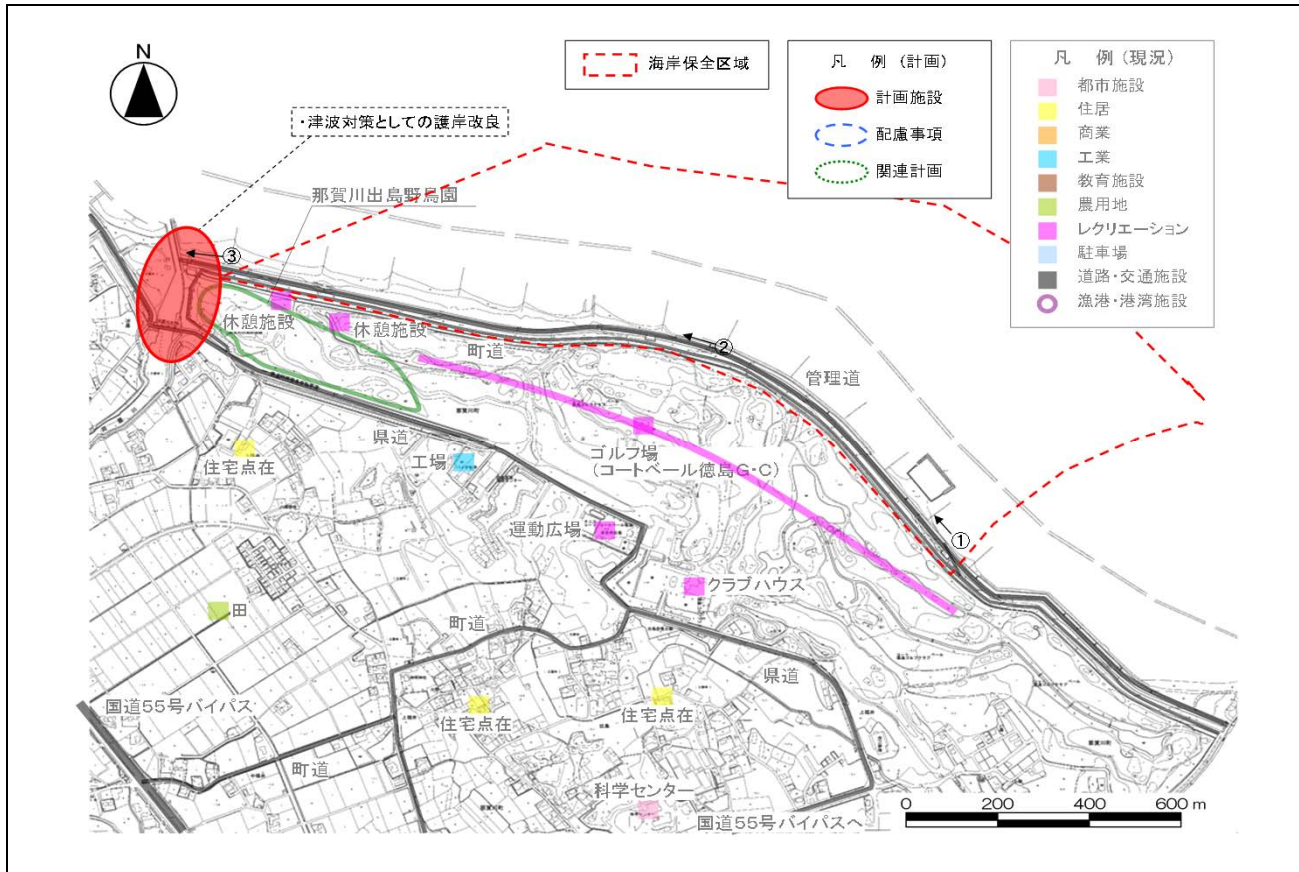
①護岸状況（西側を撮影）



②海岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。特に、レクリエーション面での海岸利用ニーズの高い地域であるため、海岸利用を促進するための施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	砂浜の再生に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	海岸に隣接してゴルフ場、野鳥観察園がある。海岸利用のニーズが高く、海岸環境整備事業を計画中である。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C
背後地ランク	B	既存保全施設	階段式堤防、樋門、消波工、突堤、離岸堤		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	階段式堤防となっており、前面に消波工・離岸堤が整備されている。背後は農地や民家となっている。また水叩きは新に舗装されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・ブロック・突堤・離岸堤・護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	-				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	海岸環境整備事業				
地域からの要請	砂浜の再生、松林の再生				

計画概要	
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。
受益規模	約1,800ha
導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ	
35	紀伊水道西	中島港海岸	中島地区	国土(港湾)	阿南市	④那賀川ゾーン	利用促進

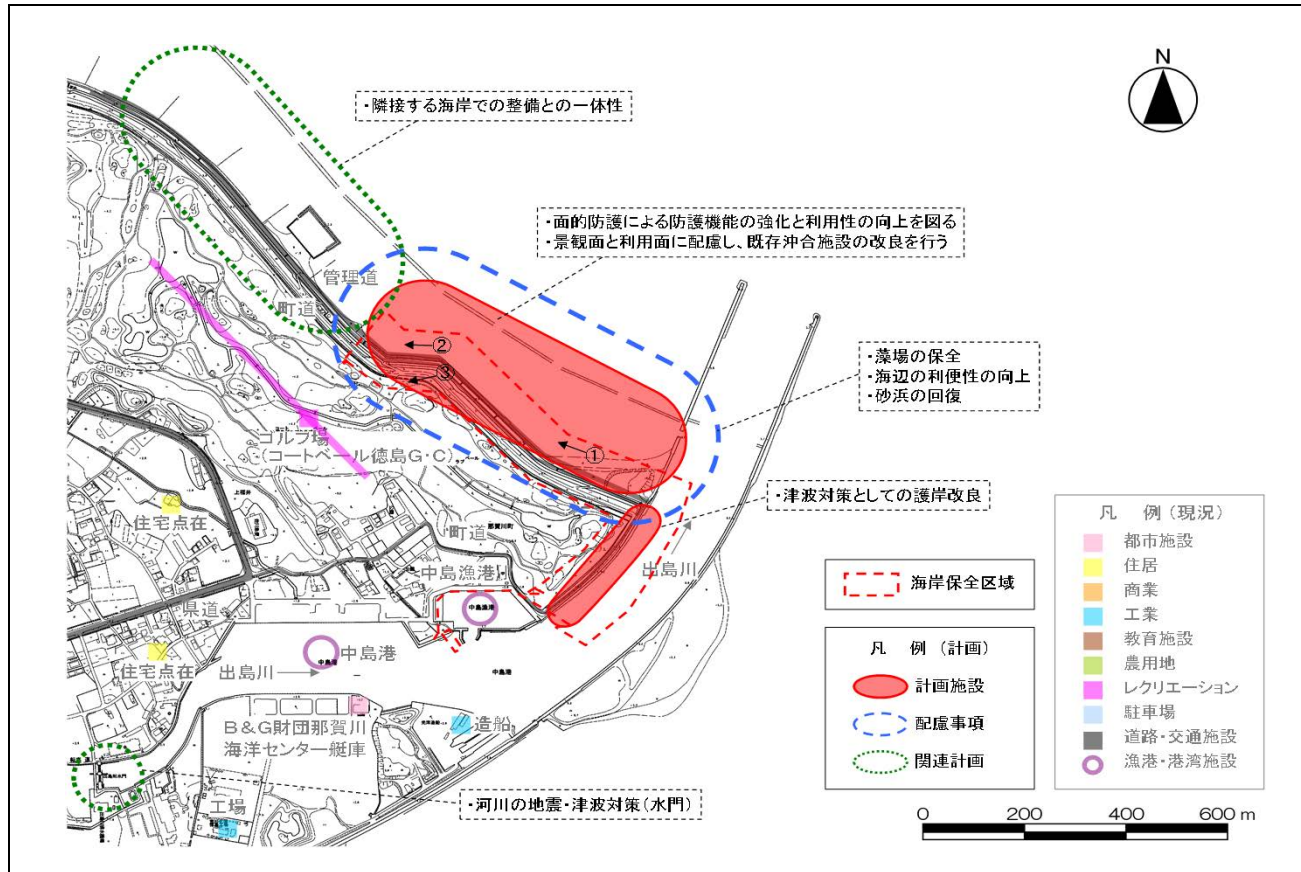
①護岸状況(東側)



②護岸状況(東側)



③護岸状況(西側)



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。特に、レクリエーション面での海岸利用ニーズが高い地域であり、防護面の強化にあたっては海岸利用を促進するための施設整備を図る。
防護面	1津波や高潮による浸水の危険性や浸食等の可能性があり、対策を行う。
環境面	砂浜の再生に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	海岸に隣接してゴルフ場、野鳥観察園がある。海岸利用のニーズが高く、人工海浜構想を計画している。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	B	
背後地ランク	B	既存保全施設	緩傾斜護岸、消波工、突堤、離岸堤			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	階段式護岸となっており、前面に消波工・離岸堤が整備されている。背後地はゴルフ場であり水叩きは新に舗装されている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	砂浜・ブロック	離岸堤・護岸		
自然関係法令	-					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	-					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	人工海浜構想					
地域からの要請	砂浜の再生、松林の再生、レクリエーション拠点の整備					

計画概要		
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。また、面的防護施設による防護機能の強化を図る。さらに、既存沖合施設の改良等を行う。	
受益規模	約500ha	導入事業
配慮事項	藻場の保全、海辺の利便性の向上、砂浜の回復	

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
36-1	紀伊水道西	富岡港海岸	辰巳地区	国土(港湾)	阿南市	721	④那賀川ゾーン	防護重視

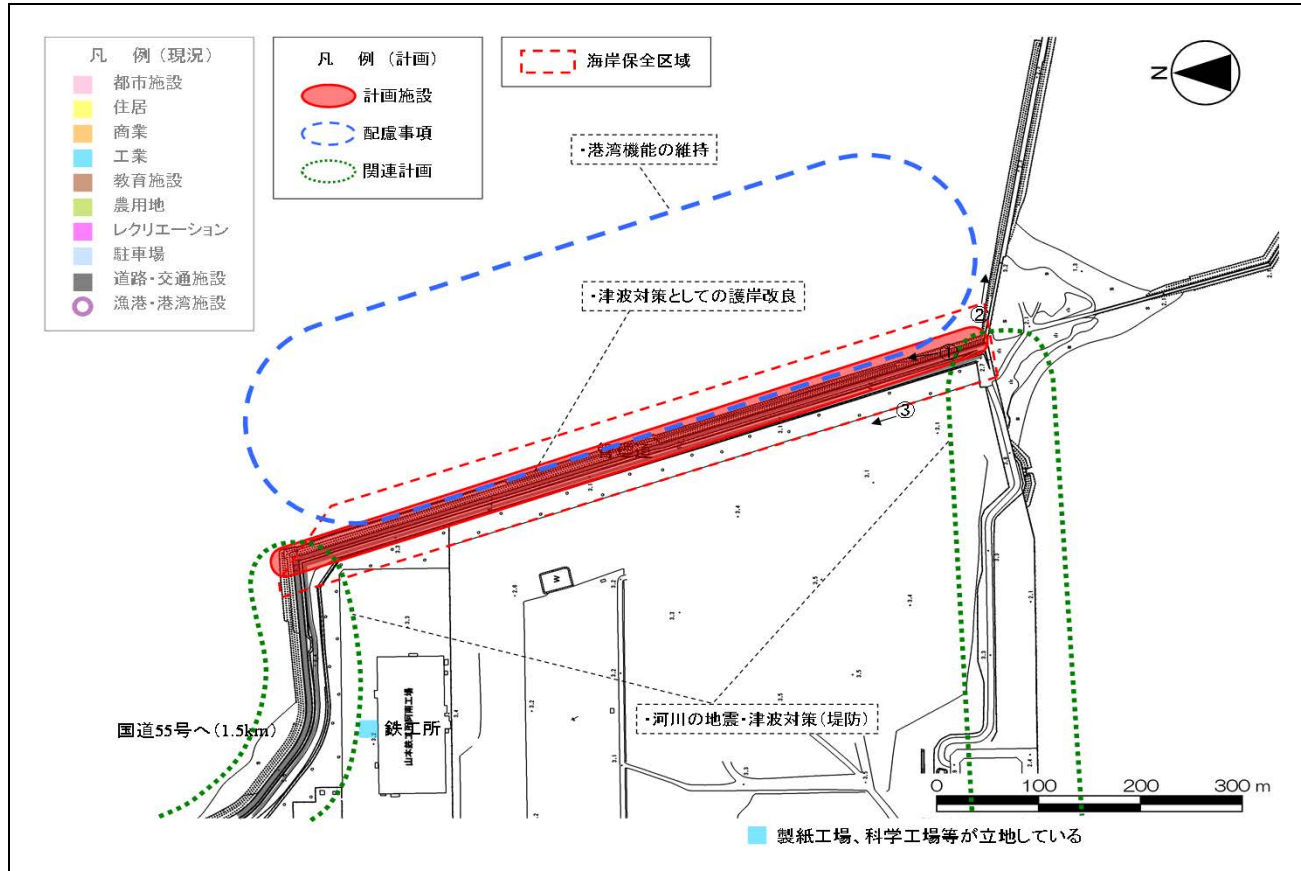
①護岸状況



②突堤状況(最東側)



③管理道路と道路状況



海岸整備の方向性	
全体	環境面・利用面での特異的な配慮事項はないが、防護を中心とした施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C
背後地ランク	A	既存保全施設	護岸・堤防・消波工		
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。				
海岸保全区域の概況	辰巳工業団地の海側に位置し、護岸と消波工が整備されている。将来的に離岸堤を整備する計画がある。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	砂浜・ブロック・護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	C	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	ウミガメ(現地確認情報)、ウミガメの上陸産卵への配慮(砂浜の保全)				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要		
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。	
受益規模	約5ha	導入事業
配慮事項	港湾機能の維持	



No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
36-2	紀伊水道西	富岡港海岸	豊益・跡地区	国土（港湾）	阿南市	1516	④那賀川ゾーン	利用促進

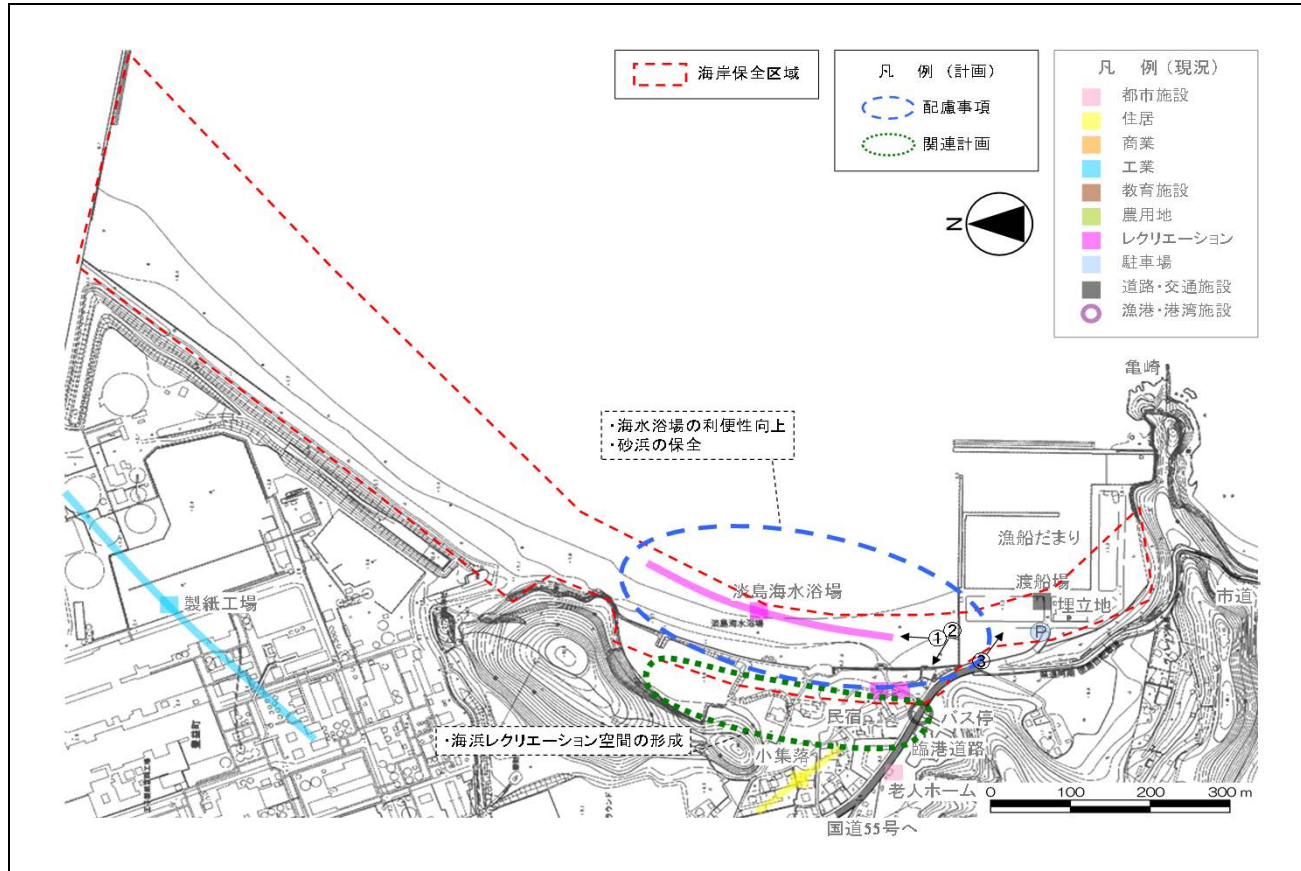
①海岸状況（全景）



②背後地状況



③漁港状況（南側）



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設整備を図る。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	淡島海岸の砂浜、背後の松林が一体となった良好な自然環境の保全に努めるとともに、ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	海水浴等の海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	-
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防、砂浜		
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。				
海岸保全区域の概況	淡島地区の漁船だまり北側に広がる砂浜海岸であり、護岸が整備されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、自然景観、ウミガメ（現地確認情報）、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	海水浴				
地域からの要請	海浜レクリエーションの形成、松林の保全				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	海水浴場の利便性向上、砂浜の保全

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
37-1	紀伊水道西	中林漁港海岸	中林地区	農水（水産）	阿南市	795	④那賀川ゾーン	利用促進

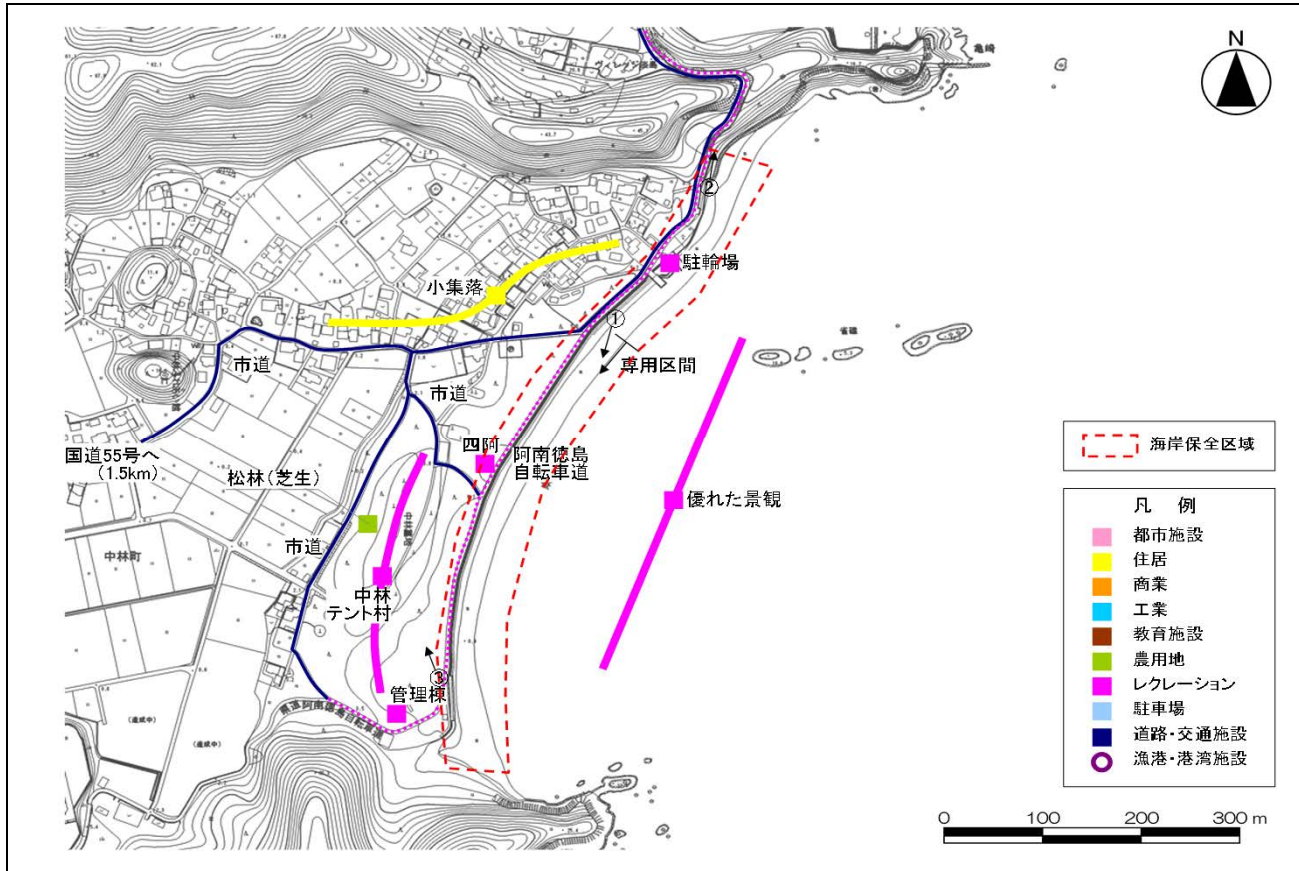
①海岸状況（東側）



②護岸状況（サイクリングロード）



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	中林海岸の砂浜、美しい海岸線、背後の松林が一体となった良好な自然環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	臨海キャンプ場が隣接し海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C
背後地ランク	C	既存保全施設	緩傾斜護岸、砂浜		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	階段式護岸となっており、背後には自転車道が整備されている。また、前面は砂浜となっている。護岸形状の整合が取れていない。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	干潟	サンゴ	—	
配慮すべき資源	自然関係法令、ウミガメ（現地確認情報）、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	臨海キャンプ場				
地域からの要請	自然環境の保護、越波対策、松林の保全				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
37-2	紀伊水道西	中林漁港海岸	北ノ脇地区	農水（水産）	阿南市	1000	④那賀川ゾーン	利用促進

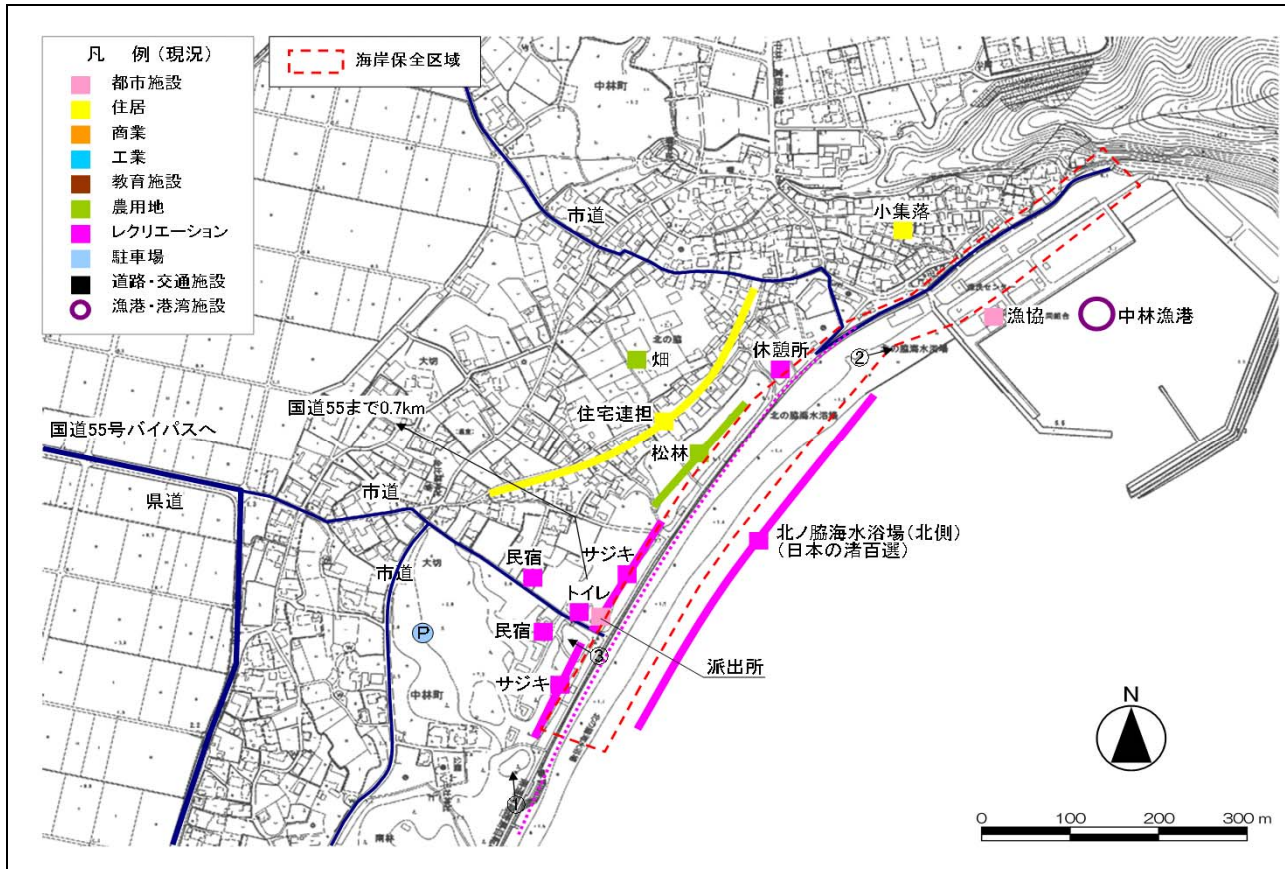
①海岸状況（全景）



②漁港



③背後状況（駐車場）



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	北の脇海岸の砂浜、背後の松林が一体となった良好な自然環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	海水浴等の海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防、海水浴場			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	東側は中林漁港に隣接し、西側は見能林地区海岸となっている。現在、北の脇海水浴場として整備されている。見能林地区海岸よりも整備水準は低い。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、自然景観、ウミガメ（現地確認情報）、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	海水浴、観光地びき網					
地域からの要請	松林の保全、ゴミ対策、侵食対策					

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-